

## 国語科 第2学年 シラバス

### 1 年間のねらい・到達目標

- ・国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や創造力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

### 2 指定教科書

国語科	2学年	教科書名（出版社）	現代の国語2（三省堂）
		副教材	単元別漢字2（秀学社） 積み上げ国語2年（明治図書） 級別字典 漢字の反復練習（浜島書店）→1年次配布済み 国語便覧（浜島書店） 楽しい文法（とうほう） 中学書写（光村図書）

} 3年間継続で使用

### 3 学習到達目標

- ・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。
- ・目的や場面に応じ、社会生活に関わることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身につけている。話したり聞いたりして考えを広げている。
- ・目的や意図に応じ、社会生活に関わることなどについて、構成を工夫して書く能力を身につけている。文章を書いて考えを広げている。
- ・目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方に注意しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする。
- ・伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、使用するとともに文字を正しく整えて書いている。

### 4 学習の進め方

#### 【主な授業の進め方】

授業の最初に学習内容で特に重視するポイントについての質問を投げかけます。予習をしているという前提で質問しますので、教科書を予め読んだり、副教材を活用したりして質問に答えられるようにしておきましょう。その後、本文全体の読解に入ります。できるだけグループ活動を取り入れて他の生徒の意見も参考にしながら問題解決していけるような授業にしたいと思っています。最後に1時間のまとめをして終了です。

#### 【思考力・判断力・表現力の育成方法】

「どのような表現をすれば、相手に伝わるだろう」ということを考えながら、書いたり読んだり話したりします。相手意識をもって授業に取り組むことが大切なので、出来るだけ多くの生徒と交流する授業（グループ活動・発表など）を展開していきます。

#### 【望ましい家庭学習】

国語の能力は授業だけでなく、日頃の生活のなかでも養われます。日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、家族と会話をする中で、使える言葉の数をふやしましょう。特に本や新聞は「相手（読み手）を意識した文章」なので、読むことで思考力・判断力・表現力の育成にもつながると考えられます。また、漢字の学習は、毎日少しずつ進めてほしいです。「一日10個漢字を覚える」など、毎日具体的な目標を設定できるといいと思います。

## 5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1	<b>学びの扉を開く</b> 「名づけられた葉」 「小さな手袋」 「類義語・対義語・多義語」 <b>情報を読み解く</b> 「人間は他の星に住むことができるのか」 「プレゼンテーション」 「熟語の構成・熟字訓」 <b>ことばを磨く</b> 「短歌の世界／短歌十首」 「創作文」 「用言の活用」 「見えないチカラとキセキ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>多義的な意味、抽象的な概念を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>リズムを感じ取りながら繰り返し音読して、詩に込められた思いを捉えている。</li> <li>登場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取っている。</li> <li>文章の構成について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。</li> <li>話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えている。</li> <li>異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、構成を工夫して説得力のある発表をしている。</li> <li>情景や心情を表す語句に注意して、短歌の世界を読み味わう。</li> <li>作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く。</li> <li>言語事項についての理解を深めている。</li> </ul>	<p>【国語への関心・意欲・態度】 各種提出物・定期考査・持ち物点検・授業への取り組み態度等</p> <p>【話す・聞く能力】 各種スピーチ・聞き取り表・定期考査・話し合い活動等</p> <p>【書く能力】 各種作品(創作文・主張文・手紙文)等</p> <p>【読む能力】 定期考査・文学的文章の鑑賞文等</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 定期考査・小テスト・暗唱・言語プリント・書写作品(毛筆・硬筆)等</p>
2	<b>視野を広げる</b> 「壁に残された伝言」 「熟語の読み」 「主張文」 <b>古典に学ぶ</b> 「枕草子・徒然草」 「平家物語」 「漢詩の世界」 <b>分析的に考える</b> 「動物園でできること」 「方言と共通語」 「パネルディスカッション」 「助詞・助動詞」 <b>読みを深め合う</b> 「大阿蘇」 「敬語の意味と種類」 「走れメロス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもっている。</li> <li>自分の立場や考えとともに、それを支える事実や事柄を明らかにして、文章の構成を工夫している。</li> <li>文章に表れたものの見方や考え方に触れ、筆者の思いを想像している。</li> <li>自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉えている。</li> <li>古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取っている。</li> <li>文章に表れたものの見方や考え方に触れ、筆者の思いを想像している。</li> <li>仮名遣いや語句の意味に注意しながら朗読し、古典のリズムを味わっている。</li> <li>漢詩独特の言葉づかいや調子を捉えて、漢詩の世界を読み味わっている。</li> <li>文章の全体と部分の関係や、例示の効果などに注意して、筆者の主張を読み取っている。</li> <li>異なる立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら話し合い、自分の考えを広げている。</li> <li>場面ごとのできごとを手がかりとして、作品の構成の特徴について考えをまとめている。</li> <li>言語事項についての理解を深めている。</li> </ul>	<p>【書く能力】 各種作品(創作文・主張文・手紙文)等</p> <p>【読む能力】 定期考査・文学的文章の鑑賞文等</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 定期考査・小テスト・暗唱・言語プリント・書写作品(毛筆・硬筆)等</p>
3	<b>想いを伝える</b> 「達人のことば」 「手紙」 <b>つながりを考える</b> 「ポテト・スープが大好きな猫」 「地域情報誌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>達人たちのことばに表れたものの見方を捉え、仕事や生き方について意見をもっている。</li> <li>相手や目的に応じて、事柄が正しくわかりやすく、気持ちが十分に伝わる書き方になるように推敲している。</li> <li>登場人物の言動の意味を考え、内容を理解している。</li> <li>目的に応じて会議を開き、互いの発言を検討して考えを広げている。</li> </ul>	

※上記の学習内容に加え、書写の学習が20時間程度あります。また副教材の活用、状況に応じた教材の追加、差し替えがある場合があります。

※漢字の学習は基本的に家庭学習で進めていただき、学校で小テストを実施して学習状況を把握していきます。また定期テスト前や長期休みには漢字学習の復習課題を出したいと思います。

## 社会科 第2学年 シラバス

### 1 年間のねらい・到達目標

グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者を目指す。そのために…

日本の地理や歴史、文化に対する興味関心を深める。そして…

**地理**：広い視野をもち、日本の諸地域の特色を自分の生活や世界の地理学習と結びつけて理解できる。

**歴史**：現代社会とのつながりを意識しながら、今の日本が形作られた流れについて理解できる。

### 2 指定教科書

教科 名	学 年	教科書名（出版社）	歴史：教育出版 地理：帝国書院
		副教材	歴史：正進社「歴史の完全学習2・3」 とみとき総合歴史（資料集） 地理：正進社「地理の完全学習2」 地理資料集

### 3 学習到達目標

○日本の諸地域学習や日本の歴史に対する関心を高めて追究し、よりよい社会について考えることができる。

○日本の諸地域や日本の歴史について、地域の特色や時代の特色を大まかに説明できる。

○日本の諸地域や日本の歴史について、特色を説明するための必要な資料を選択できる。

○日本の諸地域や日本の歴史について、大切な知識を身に付けている。

○日本の諸地域や日本の歴史に誇りをもち、そのことについて語るすることができる。

### 4 学習の進め方（○→自分で行うことが望ましい。●→授業の大まかな流れ）

○事前に予習・復習を行おう。（教科書を見ながらワークを解く。学習の大枠をつかんでおく。）

●課題や疑問点を見付けよう。（学習に関する課題や疑問を発見し、学習課題を立てる。）

●調べ、考えを深めよう。（教科書、資料集、各種資料から調べ、課題の答えを発見する。）

●学習内容を深める。（課題や疑問点、重要事項など、教師が解説を加える。）

●自分の考えをまとめよう。（プリントに学習課題の答えを書く。）

○その日の学習を復習しよう。（ノートを見直して、課題や疑問点の答えを書けるか、確認する。）

### 5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1 学期	<b>地理的分野</b> 世界と比べた日本の地域的特色	<b>ポイント</b> 「はじめての日本地理」（長期休業中の課題）を繰り返して解こう。 <b>到達目標</b> ○世界と比べた日本の地域的特色について、世界や日本全体の視野から見た様々な面を理解している。	<b>評価方法</b> ワークシート、ワーク <b>補充学習</b> ワークを解きなおそう。

	<p><b>地理的分野</b> 日本の諸地域 北海道地方 九州地方 中部地方 近畿地方 中国・四国地方</p>	<p><b>ポイント</b> 日本の諸地域を自然環境、産業、交通・通信の視点で学習します。この視点をもとに地域の特色を理解しよう。</p> <p><b>到達目標</b> ○日本の諸地域について、自然環境、産業、交通・通信を視点として地域的特色を理解している。</p>	<p><b>評価方法</b> 学習プリント、定期考査、ノート・ワークの取り組み</p> <p><b>補充学習</b> ワークを繰り返し解こう。 ※学習プリントは毎回必ず出そう。</p>
2 学期	<p><b>歴史的分野</b> 第4章 近世の日本と世界</p>	<p><b>ポイント</b> 「近世とはどんな時代ですか。」という質問に答えられるようにしよう。主な内容は、ザビエル、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、江戸幕府の政治です。</p> <p><b>到達目標</b> ○近世の歴史について、時代の特色を大まかに説明できる。 ○近世の歴史について、特色を説明するための必要な資料を選択し、大切な知識を身に付けている。</p>	<p><b>評価方法</b> 学習プリント、定期考査、ノート・ワークの取り組み</p> <p><b>補充学習</b> ワークを繰り返し解こう。 ※学習プリントは毎回必ず出そう。</p>
	<p><b>歴史的分野</b> 第5章 近代の幕開け</p>	<p><b>ポイント</b> 「幕府はなぜ滅亡したのですか。」という質問に答えられるようにしよう。小学校の学習より厚みがあります。復習を大切にしよう。</p> <p><b>到達目標</b> ○近世から近代の歴史の流れについて、大まかに説明できる。 ○近世から近代の歴史について必要な知識を身に付けている。</p>	<p><b>評価方法</b> 学習プリント、定期考査、ノート・ワークの取り組み</p> <p><b>補充学習</b> ワークを繰り返し解こう。 ※学習プリントは毎回必ず出そう。</p>
3 学期	<p><b>歴史的分野</b> 第6章 近代の日本と世界</p>	<p><b>ポイント</b> 「近代前半とはどんな時代ですか。」という質問に答えられるようにしよう。毎回の復習を大切に行おう。</p> <p><b>到達目標</b> ○近代の歴史について、時代の特色を大まかに説明できる。 ○近代の歴史について、特色を説明するための必要な資料を選択し、大切な知識を身に付けている。</p>	<p><b>評価方法</b> 学習プリント、定期考査、ノート・ワークの取り組み</p> <p><b>補充学習</b> ワークを繰り返し解こう。 ※学習プリントは毎回必ず出そう。</p>
	<p><b>地理的分野</b> 日本の諸地域 東北地方 関東地方 身近な地域の調査</p>	<p><b>ポイント</b> 日本の諸地域を人口や都市・村落の視点で学習します。この視点をもとに地域の特色を理解しよう。</p> <p><b>到達目標</b> ○日本の諸地域について、人口や都市・村落を視点として地域的特色を理解している。</p>	<p><b>評価方法</b> 学習プリント、定期考査、ノート・ワークの取り組み</p> <p><b>補充学習</b> ワークを繰り返し解こう。 ※学習プリントは毎回必ず出そう。</p>

## 数学科 第2学年 シラバス

### 1 年間のねらい・到達目標

数量・関数・図形・データの活用に関する基礎的・基本的な原理・法則についての理解を深め、事象を数学的に表現する能力を高め、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感しながら、それらを活用して考えたり判断したりする態度を育む。

### 2 指定教科書

教科書	・未来へ広がる 数学2（啓林館）	副教材	・数学リポート学習2（正進社）
-----	------------------	-----	-----------------

### 3 学習到達目標

- ・文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
- ・文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を身に付けている。

### 4 学習の進め方

- ・授業は、学習内容の説明・解説、個人での演習、グループでの学び合い活動を中心に進める。個人での演習を通して、現段階で理解できているところとできていないところを明確にし、学び合い活動を通して、わからないところを教わることで理解したり、人に教えることで自分の学びを深めたりする。
- ・答えが出せたときには、別解やもっと簡単に解く方法などを探求してみる。また、わからない問題があったときは、あきらめずに教科書やノートを見直して、自分なりに考えて解いてみる。
- ・教科書の読み込み、授業で扱った問題の解き直し、問題集の演習を中心に家庭学習を行う。授業で習ったものをその日のうちに復習する習慣を身に付けられるとよい。また、教科書や問題集をあらかじめ読んで予習しておくことで、次の授業へ臨むときの理解が深まる。

## 5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1学期	1章 式の計算  2章 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字式の計算や式の変形ができる。</li> <li>文字を用いた式で、数量や数量の関係をとらえて説明することができる。</li> <li>加減法や消去法を用いて連立方程式の解を導くことができる。</li> <li>身のまわりの問題について、連立方程式を利用して解決することができる。</li> </ul>	<p>【評価観点】</p> <p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>提出物</li> <li>授業態度</li> </ul> <p>発言、板書、取組、忘れ物など</p> <p>&lt;見方・考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>テスト後アンケート</li> </ul>
2学期	3章 一次関数  4章 図形の調べ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次関数の性質を式、表、グラフで表すことができる。</li> <li>二元一次方程式や連立方程式の解を一次関数の性質を活用して求めることができる。</li> <li>身のまわりの問題について、一次関数の考えを利用して表現や考察することができる。</li> <li>角や平行線、多角形の性質を活用して問題を解くことができる。</li> <li>図形の性質を活用して、論理的に（正しい手順で）仮定から結論を証明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末レポート</li> </ul> <p>&lt;技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>学期始めテスト</li> <li>小テスト</li> </ul> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>学期始めテスト</li> <li>小テスト</li> </ul> <p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習（復習・予習）</li> <li>補充教室（地域未来塾）</li> </ul>
3学期	5章 図形の性質と証明  6章 確率  7章 箱ひげ図とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を活用して、三角形や四角形の性質を証明することができる。</li> <li>三角形や四角形の性質を用いて、角の大きさや辺の長さを求めることができる。</li> <li>等積変形をして図形を変形することができる。</li> <li>樹形図や表を活用して起こりえる場合の数や組み合わせの数、確率の値を求めることができる。</li> <li>資料の四分位数や四分位範囲を求め、箱ひげ図にすることができる。</li> <li>箱ひげ図から資料の特徴や性質を読み解くことができる。</li> </ul>	

## 理科 第2学年 シラバス

### 1 年間のねらい・到達目標

自然の事物・現象に関わり、科学的に探究する能力を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。とくに2年生では、自然の事物・現象の中でみられる問題や課題を見だし、それらを解決する方法を立案し、その結果を分析して解釈することを目標とする。

### 2 指定教科書

理科	2 学 年	教科書名（出版社）	新編 新しい科学 1(東京書籍)、新編 新しい科学 2(東京書籍)
		副教材	中学理科ノート 1年(正進社)、理科の学習 1年(浜島書店) 中学理科ノート 2年(正進社)、学習整理 理科 2年(学宝社)、 基本と活用ブック(学宝社)、最新 理科便覧 東京都版(浜島書店)

### 3 学習到達目標

#### (1) 1年 単元4 大地の変化

大地の変化で起こるさまざまな現象を、地形、地層、岩石などの観察、地震の観測記録などの分析を通し、それらのしくみと大地の変化とを関連づけて考えることができる。また、さまざまな大地の変化が社会や生活と関連していることを認識し、理科を学ぶことの意義と有用性を理解する。

#### (2) 単元1 化学変化と原子・分子

化学変化についての観察・実験を通して化合、分解などにおける物質の変化や、その数量的な関係について理解するとともに、これらの事象を原子、分子のモデルと関連づけた考え方ができる。

#### (3) 単元2 動物の生活と生物の変遷

身近な動物についての観察・実験を通して動物のつくりとはたらきを理解するとともに、動物の種類や生活についての認識を深める。

#### (4) 単元3 天気とその変化

身近な気象の観察・観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、気象観測について、それが起こる仕組みの規則性について理解する。

#### (5) 単元4 電気の世界

電流についての観察・実験を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解するとともに、電流と磁界を日常生活に関連づける見方・考え方ができる。

### 4 学習の進め方

#### ① 主な授業の進め方

1週間あたり4時間の授業があます。基本的に「3 学習到達目標」に記載してある、(1)、(2)、(5)を週あたり3時間の授業の中で、(3)、(4)を週あたり1時間の授業の中で進めます。

#### ② 思考力・判断力・表現力の育成方法

思考力・判断力・表現力を高めるには授業中に教員から出された質問について問題や課題なども含めて、自分なりの答えを必ず出してみましょう。1回の授業時間は限られていますから、短時間で答えを考えることになるとは思います。決められた時間の中で「こうかもしれない。」という答えを必ず出してみましょう。まず、自分の考え（仮の答えを持つ。）ということ意識してください。またレポートなど、書き方がわからない場合は、教科書など参考になるものを「まず見る」という習慣を身に付けましょう。

#### ③ 望ましい家庭学習

理科の家庭学習は「復習を中心に学習しよう」。第2学年の理科では、知識として覚えるべきことが数多くあり、第3学年で再度取り扱う内容も多くあります。授業中に何となくわかったつもりでいても、後に思い出せないことはよくあります。その日の授業で学習したこと、特に記号や公式を利用した計算の方法など、授業でのノートを参考に、その日のうちに見直し、学習した内容を整理しておきましょう。また、考え方を習得出来たら、応用問題や複雑な計算問題に挑戦することで、より深く理解できます。テスト前には、問題集や課題プリントを、1度ではなく何度も解き直すことで、自身の苦手を知り、効果的に学習課題に取り組むことができます。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1学期	<p>1年単元4「大地の変化」 2章：動き続ける地球 3章：地層から読みとる大地の変化</p> <p>単元1「化学変化と原子・分子」 1章：物質のなり立ち</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震のゆれの伝わり方、規則性、地震発生のしくみを理解している。</li> <li>地層や堆積岩、化石から、過去の環境を推定し考察できる。</li> <li>分解した物質の成分からもとも物質を推定できる。原子や分子について理解している。</li> </ul>	<p>主な評価の方法・材料</p> <p>○定期テスト・小テストの観点別の得点 …【関】・【思】・【技】・【知】</p> <p>○「観察・実験」の技能、および取組状況 …【関】・【技】</p>
	<p>単元2「動物の生活と生物の変遷」 1章：生物と細胞 2章：動物のからだのつくりとはたらき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物のからだは細胞からできていること、植物と動物の細胞のつくりの違いを見だし、理解している。</li> <li>動物が、必要なものを取り入れて運搬し、不要な物質を排出するためのしくみと器官のつくりを理解している。</li> </ul>	<p>○観察・実験レポートの記述内容 …【関】・【思】・【技】</p> <p>○（授業中の）課題に対する取組状況 …【関】・【技】</p>
2学期	<p>単元1「化学変化と原子・分子」 2章：物質どうしの化学変化 3章：酸素がかかわる化学変化 4章：化学変化と物質の質量 5章：化学変化とその利用</p> <p>単元4「電気の世界」 1章：静電気と電流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学変化を原子や分子のモデルで説明でき、化学式および化学反応式で表せることを理解している。</li> <li>酸素を受け取る反応や渡す反応について興味を持ち、生活と関連づけて考察できる。</li> <li>化学反応の前後での質量の関係、熱の出入りがともなう反応について理解している。</li> <li>静電気と電流には関係があることを見だし、電流が電子の流れてあることを理解している。</li> </ul>	<p>○観察・実験レポートの記述内容 …【関】・【思】・【技】</p> <p>○（授業中の）課題に対する取組状況 …【関】・【技】</p>
	<p>単元2「動物の生活と生物の変遷」 3章：動物の分類</p> <p>単元3「天気とその変化」 1章：気象観測と雲のでき方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキツイ動物、無セキツイ動物について興味をもって調べ、かただのつくりの特徴によって分類できることを理解している。</li> <li>さまざまな気象現象の中の規則性に気づき、気象要素の変化の関係を見いだす。水蒸気が水滴に変化するしくみについて理解している。</li> </ul>	<p>自然事象への関心・意欲・態度(25%) 科学的な思考・表現(25%) 観察・実験の技能(25%)</p>
3学期	<p>単元4「電気の世界」 2章：電流の性質 3章：電流と磁界</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路をつくり、電流計やで電圧系、電源装置などの操作技能を習得しながら、回路各部の電流や電圧について、規則性を見いだす。</li> <li>電力のちがいから熱や光などの量に違いがあることを見だし、生活と関連づけて考えることができる。</li> </ul>	<p>自然事象についての知識・理解(25%)</p>
	<p>単元3「天気とその変化」 2章：前線とそのまわりの天気の変化 3章：大気の動きと日本の天気</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前線通過の際の観測結果にもとづき、前線の通過と気団の動きに関連づけてとらえることができる。また、前線の構造について理解し、降雨のようすなどをとらえることができる。</li> <li>日本の天気の特徴を、影響をあたえる気団や偏西風と関連づけて考察することができる。また、大陸や海の影響も大きく受けていることを理解するとともに、太陽のエネルギーが関係していることを理解している。</li> <li>天気の変化が与える災害について考え、被害を少なくする方法を理解している。</li> </ul>	<p>自然事象についての知識・理解(25%)</p>



## 英語科 第2学年 シラバス

### 1 年間のねらい・到達目標

- (1) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- (2) 外国語で聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を培う。
- (3) 外国語で自分の意見を表現し、相手を説得、納得させるような活動を通して、思考力、判断力、表現力を養う。

### 2 指定教科書

英語	2 学 年	教科書名（出版社）	New Horizon English Course 2（東京書籍）
		副教材	英語のたてよこドリル 2年（正進社） 英語の完全学習②（正進社） 英語ワイドノート（浜島書店） W プリント-評価と確認-（新学社）

### 3 学習到達目標

- (1) 身近な話題を問答するなどして会話を続けることができる。
- (2) さまざまな内容について情報や意見を正しく伝えることができる。
- (3) 語や文のつながりに注意しながら意見やその理由を含めて4文以上で書くことができる。
- (4) 特定のテーマについての放送を聞き、概要や要点を聞き取ることができる。
- (5) レポートやスピーチ、物語や説明文を読んでその主な内容や書き手の意向を読み取ることができる。

### 4 学習の進め方

#### ●授業の進め方：

- ①導入（15分）…スモールトーク、たてよこドリル、Q&Aシート、一分間チャットなど
- ②展開（25分）…文法事項を使ったアクティビティ、教科書の内容確認、単語、音読など
- ③まとめ（10分）…授業の振り返り、ノート作り、文法の確認など

#### ●思考力・判断力・表現力の育成方法：

「読む、書く、聞く、話す」のどの分野にもチャレンジし、意欲的に取り組む。アクティビティや発表活動では仲間と協力し、失敗を恐れずに積極的に参加する。外国人教師（ALT）と会話し、実践的なコミュニケーションに挑戦する。単元末に教科書内容について振り返り、自分の感想や意見をまとめたり、伝え合ったりする。

#### ●望ましい家庭学習：

【基本】教科書の本文を、発音やイントネーションに気をつけながら声に出して音読する。（音声を聞ける環境が良い）その日のうちにノート作りをする。ワークは解答を見ずに取り組み、間違っただけを中心にしてできるまで復習する。学習してわからないところはメモをして後日先生やクラスメイトに教えてもらう。

【発展】教科書本文の内容についての質問と答えを英語で作る。授業用ノートには説明されたことや板書だけでなく、自分で文章を書いてみるなど工夫し、自分だけのノートを作る。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1 学 期	Unit0 春休みの思い出	○一般動詞の過去形の形、意味、用法を理解し、表現できる。	評価の観点： 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ○授業内のワークシートの取り組みや態度の観察、 ○ALT との対話テスト、 ○自由英作文、○ノート提出、○ワーク提出、○音読テスト、○暗唱テストなど 【外国語表現の能力】 ○定期テスト（英作文問題など）、○自由英作文、○ALT との対話テスト、○発表活動など 【外国語理解の能力】 ○定期テスト（放送テスト、読解問題など）、○ALT との対話テスト、○聞き取りテストなど 【言語や文化についての知識・理解】 ○定期テスト、○単語テスト、○音読テスト、○英文暗記テスト、○暗唱テストなど 補充学習： ○補充プリントの配布 ○補充学習会の開催 ○カウンセリングの設定など
	Uni1 外国の中学生の学校生活	○be 動詞の過去形(was, were)、過去進行形 (was, were+ing)、SVO(look+形容詞)の形、意味、用法を理解し、表現する。	
	Daily Scene1 日記	○動詞の過去形を用いて日記を書くことができる。	
	Unit2 イギリス旅行での異文化体験	○未来を表す文(be going to)、SVOO(show)、SVOC(call)の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。	
	Daily Scene 2 ていねいをお願い	○May I -?や Could you -?を用いて、場面や相手に応じていねいに許可を求めたり依頼したりすることができる。	
	Unit3 職場体験と将来の夢	○不定詞(副詞的用法、名詞的用法、形容詞的用法)の形、意味、用法を理解し、表現できる。	
	Daily Scene 3 メール	○日常の出来事について、友達に4文以上の英語でメールを書くことができる。	
2 学 期	Presentation1 将来の夢	○自分が将来やりたいことや就きたい職業などについて、不定詞などを用いて、理由とともに原稿を書き、発表することができる。 ○他の人の夢について読んだり聞いたりして理解することができる。	
	Let' s read 1 大工さんの贈り物	○物語を読んで、場面の变化や主な内容を理解したり、登場人物の心情に合わせて気持ちを込めて音読したりすることができる。	
	Unit4 アメリカでのホームステイ体験	○助動詞(句)(have to, don' t have to, will, must, must not)などの文の形、意味、用法を理解し、表現できる。	
	Daily Scene 4 電話の会話	○電話での対話で、「～さんお願いします」と、取り次ぎを頼むことができる。	
	Unit5 ユニバーサルデザイン	○副詞節(if~, when~, because~)や名詞節(that~)の形、意味、用法を理解し、表現できる。	
	Daily Scene 5 道案内	○乗り物での行き方をたずね、教えることができる。	
	Unit6 英語で落語 Daily Scene 6 詩	○There is [are] ~. の文や動名詞(動詞の ing 形)を用いた文の形、意味、用法を理解し、表現できる。 ○決められたルールの中で、英語で詩を書くことができる。	
3 学 期	Presentation2 町紹介	○町についての記事を読み取り、自分の町について4文以上の英文を書き、発表することができる。	
	Let' s read 2 新垣勉さんの人生	○主人公の生き方、考え方がどのように変化したかを読み取ることができる。内容についての質問に答えることができる。	
	Unit7 イルカと少年の物語	○比較表現(-er, the -est, more, the most, better, the best, as... as ~)の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○比較表現 (-er, the -est, more, the most, better, the best, as... as ~)の形・意味・用法を理解し、表現できる。	
	Daily Scene7 買い物	○Shall I? How much?などの表現を用いながら、自分の好みや要望伝えながら買い物をしたり、店員として販売をすることができる。	
	Presentation3 好きなこと・もの	○自分の好きな物事について、最上級などこれまで学んだ表現を用いて書いて発表したり、質問をしあったりすることができる。	
	Let' s read 3 クッキング・ウィズ・ザ・サン	○説明文を読んで、紹介されているものの特徴や利点、筆者の主張などを理解したり、各段落のキーワードを見つけ、本文の要約をしたりすることができる。	

## 音楽科 第2学年 シラバス

### 1 年間のねらい・到達目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

### 2 指定教科書

音 楽	2 学 年	教科書名（出版社）	中学生の音楽2・3上（教育芸術社）音楽のおくりもの（教育出版）
		副教材 ※3年間使用	ミュージックノート（正進社） コーラスフェスティバル（正進社）

### 3 学習到達目標

楽しく、主体的に音楽活動に取り組み、基礎的な音楽表現の技法を学びながら、音楽の多様性、豊かさを感じ取る。

### 4 学習の進め方

- ① 授業の取り組み方…音楽に関心を持ち、主体的に学習内容に取り組む。
- ② 定期考査への取り組み方…学習した内容をプリントや副教材を活用し、繰り返し復習する。
- ③ 理解、取り組みが不十分な生徒への助言…協働的な学習方法や様々なアプローチによる学習内容の提示によって行う。
- ④ 評価について…主体的に学習に取り組んでいる。表現活動、鑑賞活動において、創意工夫をもって取り組んでいる。学習内容が定着し、表現できる。

### 5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンタルチア（表現）</li> <li>・箏を楽しもう（表現）</li> <li>・フーガト短調（鑑賞）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な歌唱表現を身に付け、歌詞の内容を理解し、主体的に授業に取り組む。</li> <li>・日本の伝統音楽の良さを、日本の楽器に触れることで関心、創造力を広げる。</li> <li>・音楽を構成する要素を理解し、それに基づいて楽曲の鑑賞批評文を書くことができる。</li> </ul>	<p>「関心・意欲・態度」 授業観察、定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の創意工夫」 定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の技能」 実技テスト</p> <p>「鑑賞の能力」 ワークシート、定期考査</p>

2 ・ 3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌三部合唱 (表現)</li> <li>・時の旅人(表現)</li> <li>・混声三部合唱曲 (表現)</li> <li>・荒城の月(鑑賞)</li> <li>・交響曲第五番 (鑑賞)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な歌唱表現の技能を身に付けるとともに、音楽を構成する要素を理解、意識して音楽表現に取り組む。</li> <li>・ハーモニーの構成を理解するとともに、その美しさ、豊かさを感じ取って、音楽活動を主体的に取り組む。</li> <li>・日本に伝わる伝統的な楽曲の由来、構成を理解し、その良さを楽しむ。</li> <li>・音、音楽がもつ要素を理解し、鑑賞批評文を書くことができる。</li> </ul>	<p>「関心・意欲・態度」 授業観察、定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の創意工夫」 定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の技能」 実技テスト</p> <p>「鑑賞の能力」 ワークシート、定期考査</p>
-----------------------	---	--	---

## 美術科 第2学年 シラバス

### 1 年間のねらい・到達目標

美術作品や文化遺産などに対する見方や感じ方を深めたり、主体的に美術活動に取り組み制作の喜びを味わったりすることによって、自分の生活を豊かにできる力を養う。

### 2 指定教科書

美術	2 学 年	教科書名（出版社）	美術上・下（日本文教出版）
		副教材	美術の表現と鑑賞・アクリルガッシュセット<1年時に購入> ○木彫「2WAYクロック」セット（ひかり工芸） ○砂絵セット（ひかり工芸）

### 3 学習到達目標

主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わう。また、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。

### 4 学習の進め方

- ① 授業の取り組み方・・・美術に関心を持ち、説明を聞いたり積極的に制作ができたりにするようにする。また、自主的に準備や片付けができるようにする。
- ② 定期テストへの取り組み方・・・学習した内容をプリントや資料集を活用し、繰り返し復習する。
- ③ 理解が不十分な生徒への助言・・・わからないことが質問できるような環境を作り、個別に対応する。また、昼休みや放課後などに補習授業を行う。
- ④ 評価について・・・積極的に制作する。丁寧に制作する。提出期限を守る。自主的に準備や片付けをする。積極的に説明を聞く。忘れ物をしない。

### 5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1 ・ 2 学 期	・木彫制作 「2WAY クロック」	・彫刻について興味を持ち、意欲的に木彫を制作することができる。 ・自主的に準備、制作、片付けができる。 ・彫りのイメージを考えながら、図柄を工夫することができる。 ・木彫の彫り方の基礎が理解でき、図柄にあった彫り方で巧みに彫り上げ、美しく仕上げることができる。 ・彫りの図柄のイメージ通りに美しく彩色することができる。また、色彩の工夫もできる。 ・見て感じ表現することの素晴らしさを味わうことができる。 ・自他の作品の良さや工夫に気づき、お互いを認めあえる。	「関心・意欲・態度」 観察、テスト、準備、片づけ 忘れ物、提出期限  「発想や構想の能力」 作品、アイディアスケッチ  「創造的な技能」 作品、実技テスト  「鑑賞の能力」 観察、テスト、鑑賞カード

	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋美術史の鑑賞授業「ルネサンス」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品や作家について興味を持ち意欲的に学習することができる。</li> <li>プリントやスケッチブックに自主的に話の内容をメモできる。</li> <li>名画や名品などの素晴らしさを味わうことができる。</li> </ul>	
2 ・ 3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂絵制作「名画の模写」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂で絵を描くことに興味を持ち、意欲的に制作することができる。</li> <li>自主的に準備、制作、片づけができる。</li> <li>砂絵の技法を理解し絵画選びや図柄の工夫ができる。</li> <li>砂を混ぜて様々な色を作るなど色彩の工夫ができる。</li> <li>丁寧に絵を描き写すことができる。</li> <li>カッターを使いこなし、細かい所まで丁寧に制作することができる。</li> <li>絵画のイメージ通りに美しく砂で彩色することができる。</li> <li>見て感じ表現することの素晴らしさを味わうことができる。</li> <li>自他の作品の良さや工夫に気づき、お互いを認めあえる。</li> </ul>	<p>「関心・意欲・態度」 観察、テスト、準備、片づけ 忘れ物、提出期限</p> <p>「発想や構想の能力」 作品、アイディアスケッチ</p> <p>「創造的な技能」 作品、実技テスト</p> <p>「鑑賞の能力」 観察、テスト、鑑賞カード</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋美術史の鑑賞授業「バロック・ロココ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品や作家について興味を持ち意欲的に学習することができる。</li> <li>プリントやスケッチブックに自主的に話の内容をメモできる。</li> <li>名画や名品などの素晴らしさを味わうことができる。</li> </ul>	

## 保健体育科 第2学年 シラバス

### 1 年間のねらい・到達目標

- 運動の特性や魅力、安全な行い方や体力の必要性などの知識を基に、心と体の健康増進に向けて基本的な技能を身に付けることができる。
- 自己の課題や解決策を考え判断し、他者に伝えることができる。
- 競争や協働の経験を通して、公正に取り組むこと、互いに協力すること、自己の役割を果たすこと、お互いを認めることへの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意して最善を尽くすことができる。

### 2 指定教科書

教科	学年	教科書名（出版社）	中学 保健体育（大日本図書）
		副教材	実技：ステップアップアップ（大修館書店） 保健・体育理論：保健学習ノート（正進社）

### 3 学習到達目標

- 運動に関わる一般原則や事故の防止等の知識を理解し、それらを活用して運動実践ができる。
- 心と体の関連や運動の特性や魅力を実感し、主体的に運動との多様な関わり方が実践できる。
- 自他の課題を発見し、課題に応じた取り組み方を工夫することができる。
- 考え判断したことを、言葉や文章及び動作などで表わし、他者に伝えることができる。
- 運動に関する知識を基に、健康・安全な活動や課題解決に向けて全力を出して積極的に取り組むことができる。

#### 〔主な授業の進め方〕

- 安全確保のため、集団行動、規律を基本とした体育分野の授業を行う。
- 体育係や体育委員を中心とした授業の導入を行う。（準備運動やランニングなど）
- 単元によっては男女共習で授業を進める。

#### 〔思考力・判断力・表現力の育成方法〕

- グループ学習やペア学習などによる話し合い活動
- 学習カードによる授業の振り返りや技能の考察
- 新聞、レポート、スピーチ、意見発表などによる表現活動。

#### 〔望ましい家庭学習〕

- 配布課題への習慣的な取り組み
- 副教材を活用した自主学習。（既習単元の振り返りや課題と解決策の整理）
- 定期考査前の復習。（学習カードを中心に各種目基本知識や技能のポイントなど）

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1	体づくり運動	ねらいや体力に合わせて運動を組み合わせている	〔関心・意欲・態度〕 授業観察 自習課題 提出物 発表  〔思考・判断〕 学習カード 自習課題 家庭学習 定期考査 発表
	陸上競技 （短距離走）	運動の特性や魅力、専門用語や行い方などの知識と基本技能の習得。滑らかな動きで速く走ることができる。	
	器械運動 （マット・鉄棒）	技の名称や行い方、運動の特性や魅力などの知識と基本技能の習得。技を組み合わせて表現できる。	
	陸上競技 （走り高跳び）	運動の特性や魅力、専門用語や行い方などの知識と基本技能の習得。リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。	
	保健 （健康な生活と疾病の予防）	生活習慣病などの予防についての知識の習得。より良い過ごし方について考え伝え合うことができる。	
2	体づくり運動	動きを高めるための運動の実践を通して、リズムカルな動きや力強い動きを持続することができる。	〔技能〕 スキルテスト 授業観察
	陸上競技 （リレー）	タイミングの良いバトンパスができる。課題に応じて練習を工夫することができる。	
	球技 （ネット型・ゴール型）	運動の特性や、魅力、技術の名称や行い方などの知識と基本技能の習得。基本的なボール操作と仲間と連携した動きができる。	〔知識・理解〕 授業観察 学習カード 定期考査
	ダンス	ダンスの特性や由来、表現の仕方などの知識と基本技能の習得。リズムの特徴を捉え全身で踊ることができる。	
	保健 （健康な生活と疾病の予防）	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康についての知識の習得。より良い過ごし方について考え伝え合うことができる。	〔補充学習〕 自習課題を活用した各単元の予習、副教材を活用した家庭学習での復習、定期考査に向けた学習支援
	陸上競技 持久走	自己に応じたペースを維持することができる。速く走ることができる。	
3	武道	特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方などについての知識と基本技能の習得。受け身、投げ技や固め技などの基本となる技を用いて、簡易な攻防ができる。	
	体育理論	運動やスポーツの意義や効果などについての知識の習得。課題を見つけ、解決策を考え、それを他者に伝えることができる。	
	保健 （傷害の防止）	交通事故、自然災害などによる傷害の発生要因・その防止、応急手当の意義と実際の知識の習得。より良い過ごし方について考え伝え合うことができる。	
	球技 （ベースボール型）	運動の特性や、魅力、技術の名称や行い方などの知識と基本技能の習得。基本的なボール操作と仲間と連携した動きができる。	



## 技術科 第2学年 シラバス

### 1 年間のねらい・到達目標

エネルギー変換の方法や機器の基本的な仕組みを理解しながら、これを活用する製作品の組み立てを行うとともに、基本的な情報利用の仕組みを知り、著作権、情報モラルを考えながら体験的な学習活動などを基にしたデジタル作品を制作する。

### 2 指定教科書

技術 年	1	教科書名（出版社）	技術・家庭（技術分野） 開隆堂
	2	副教材	テーブルタップキット
	3		LED スタンドキット

### 3 学習到達目標

- ① エネルギーの変換方法や伝達の仕組みを理解できる。
- ② 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検や事故防止ができる。
- ③ エネルギー変換を利用した作品を配線、製作ができる。
- ④ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えることができる。
- ⑤ メディアの特徴と利用方法を知り、体験活動等を基にしたデジタル作品を制作することができる。

### 4 学習の進め方

- ① エネルギー変換の方法や伝達の仕組みを理解する。
- ② 機器の基本的な仕組みを理解し、製品の保守点検や事故防止の心構えを理解する。
- ③ 工具の使用方法エネルギー変換を利用した作品を製作する。
- ④ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。
- ⑤ メディアの特徴と利用方法を知り、体験活動等を基にしたデジタル作品を制作する。

### 5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1	エネルギー変換に関する技術	エネルギー変換の方法、機器の基本的な仕組みや保守点検の方法を理解する。	作品の製作、点検 製作工程表の提出
2	エネルギー変換に関する技術	エネルギー変換を利用した作品を、工具や機器を安全に用いて製作する。	定期考査による技術、 知識の理解度
3	情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権や情報モラルを考えながら体験活動を基にしたデジタル作品を設計する。</li> <li>・設計に基づいたデジタル作品を制作する。</li> </ul>	設計図の提出 作業工程表の提出 完成した作品の提出 定期考査による 技能、知識の理解度

## 家庭科 第2学年 シラバス

### 1. 年間のねらい・到達目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

### 2. 指定教科書

教科名	学年	教科書名（出版社）	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
		副教材	新家庭科資料（新学社）

### 3. 学習到達目標

1. 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。
2. 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。
3. 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。
4. 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。
5. 家族・家庭の基本的な機能や家族や地域の人々との協力・協働の必要性に気づく。
6. 幼児の遊びの意義について理解する。

### 4. 学習の進め方

〈主な授業の進め方〉

- 講義形式の授業では、1時間で1枚のワークシートを使って学習します。記入すべきところは、しっかり記入をしましょう。（昨年度同様）
- 「日常着の活用」「日常着の手入れ」の授業では、自分の衣生活を振り返ってもらう活動がいくつかあります。おおかまで良いので、自分の持っている衣服や、自分が家庭で担当している衣服に関する仕事について把握しておきましょう。（授業のために衣服を購入したり、仕事を増やしたりする必要はありません）
- 製作活動では、二人で1台のミシンを使用する予定です。お互い、コミュニケーションをはかり、ミシンの使用においては協力をして、活動を進めていきましょう。（ミシンを使用しない製作活動もあります）

〈思考力・判断力・表現力の育成〉

- 自分の考えを書く時間を設定することで、考える時間を確保し、思考力を育成する。
- 自分の考えと周りの人との考えを交流する場を設け、表現力を高める。
- 他の人の考えを聞いた後に、再考の時間を設けることで、自分の考えを深め、判断力を養う。

〈望ましい家庭学習〉

- ワークシートの表題と教科書の表題は合わせてあります。家庭で学習するときの参考にしましょう。
- 課題が提示されたときは、記憶が新しい近日中に行いましょう。
- 学習し身に付けた技能を、日常生活の衣生活に関する身の回りのことで実践してみましょう。

### 5. 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1	日常着の活用	<p>〈学習のポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★自分らしい着こなしについて考えよう。</li> <li>★衣服のはたらきについて考えよう。</li> <li>★洋服と和服の着方の違いを考えよう。</li> <li>★衣服の表示を調べてみよう。</li> </ul>	<p>〈関心・意欲・態度〉</p> <p>ワークシート 課題 定期考査 作品</p>

	<p>日常着の手入れ</p>	<p>〈到達目標〉  ☆自分らしい着こなしを考えることができる。  ☆衣服のはたらきについて理解している。  ☆洋服と和服の構成の違いについて理解している。  ☆衣服の表示の意味を理解し、適切に選択することができる。</p> <p>〈学習のポイント〉  ★衣服の汚れについて考えよう。  ★取り扱い表示に興味をもち、衣服の取り扱い方について考えよう。  ★衣服の素材である繊維を観察しよう。  ★衣服に合った洗濯について考えよう。  ★衣服の収納や保管、補修について考えよう。</p> <p>〈到達目標〉  ☆衣服の状態や素材に合わせた適切な手入れができる。  ☆取り扱い表示の意味を理解している。  ☆繊維の特徴を理解している。  ☆取り扱い表示を参考に洗濯ができる。  ☆適切な衣服の収納や保管、補修ができる。</p>	<p>〈創意・工夫〉  ワークシート  作品  定期考査</p> <p>〈技能〉  ワークシート  作品  実技テスト</p> <p>〈知識・理解〉  定期考査</p>
<p>2</p>	<p>布を用いた物の製作</p>	<p>〈学習のポイント〉  ★見通しをもって、協力して安全に製作に取り組もう。  ★ミシンの基本操作を身に付けながら、製作に取り組もう。  ★手縫いに必要な基礎縫いを身に付けよう。</p> <p>〈到達目標〉  ☆見通しをもって、協力して安全に製作活動ができる。  ☆ミシンに関する知識を身に付け、基本操作を行うことができる。  ☆基礎縫いができる。</p>	
<p>3</p>	<p>わたしたちと家族・  家庭と地域</p> <p>幼児の生活と遊び</p>	<p>〈学習のポイント〉  ★家庭での活動や、家庭の様々なはたらきについて考えよう。  ★家庭の活動を通して、男女共同参画社会について考えよう。  ★家庭と地域とのかかわりについて考えてみよう。  ★自分の幼児期を振り返りながら、幼児の遊びの意義や特徴を考えよう。</p> <p>〈到達目標〉  ☆家庭のさまざまなはたらきについて理解している。  ☆家庭の活動を通して、男女共同参画社会について考えることができる。  ☆家庭生活と地域のかかわりについて理解している。  ☆幼児の遊びや意義について理解している。</p>	